

リニア開業を見据えた岐阜県の取組について



令和 8 年 7 月 1 5 日

リニア開業に伴う新たな圏域形成に関する関係府省等会議（第 3 回）

目 次

1	リニア中央新幹線の建設について	1
2	岐阜県におけるリニアを活用したまちづくり	9
3	今年度の動き	11
4	岐阜県東濃5市未来のまちづくり協議会	12
5	岐阜県リニアシンポジウム	13

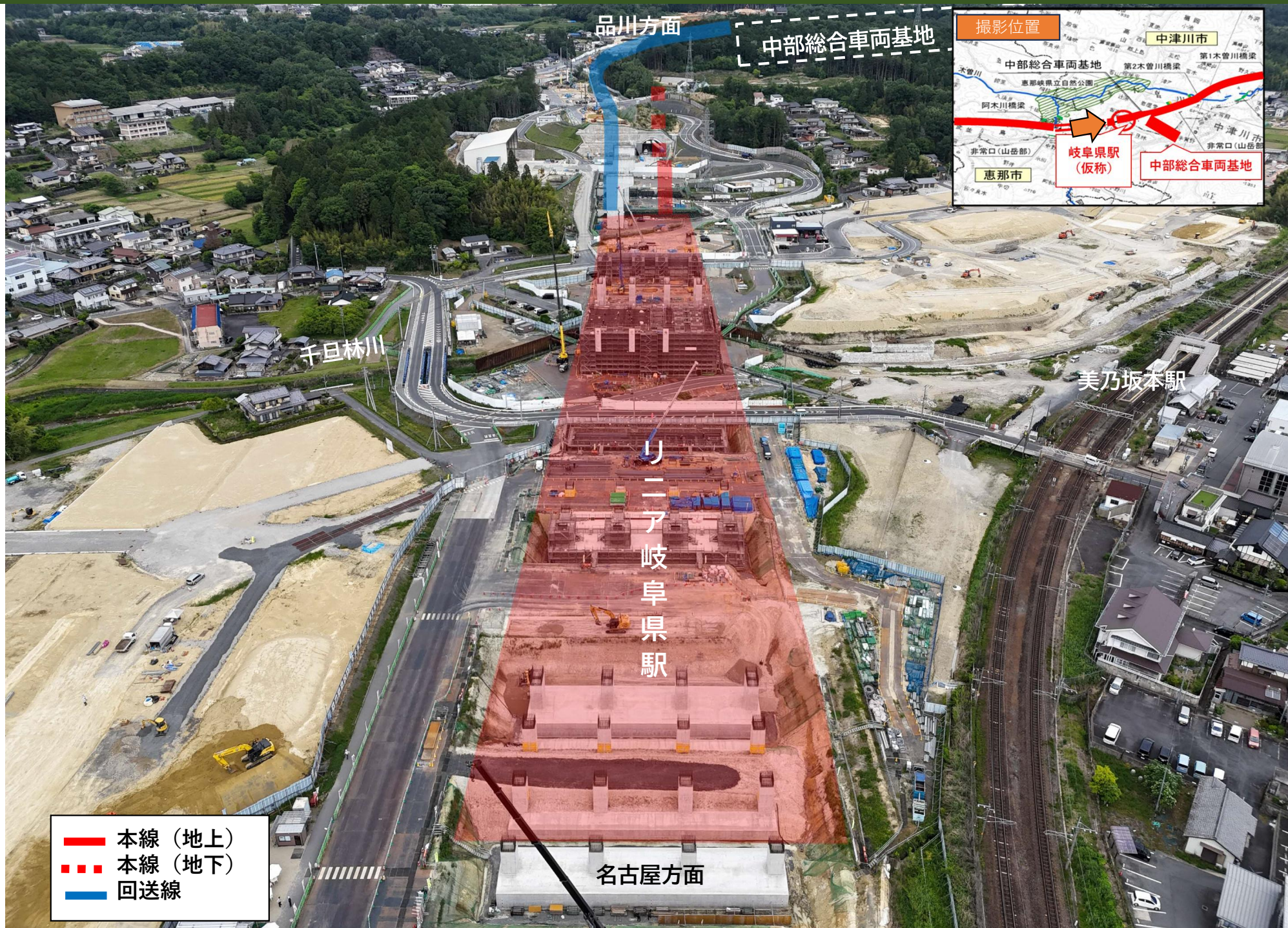
1 リニア中央新幹線の建設について

(1) 県内工事の進捗状況

- 岐阜県内は、中津川市、恵那市、瑞浪市、御嵩町、可児市、多治見市の **6 市町** を通る
- 県内路線全体（約 55.1 km）の **約 9 割はトンネル**
- 中津川市には、**リニア岐阜県駅**と区間で唯一の整備工場が付帯する **中部総合車両基地** が設置
- 県内工区の契約済延長は約 94%、調整中区間は約 6%



(2) 県内工事の進捗状況（リニア岐阜県駅ヤード）



(3) 県内工事の進捗状況（中部総合車両基地）

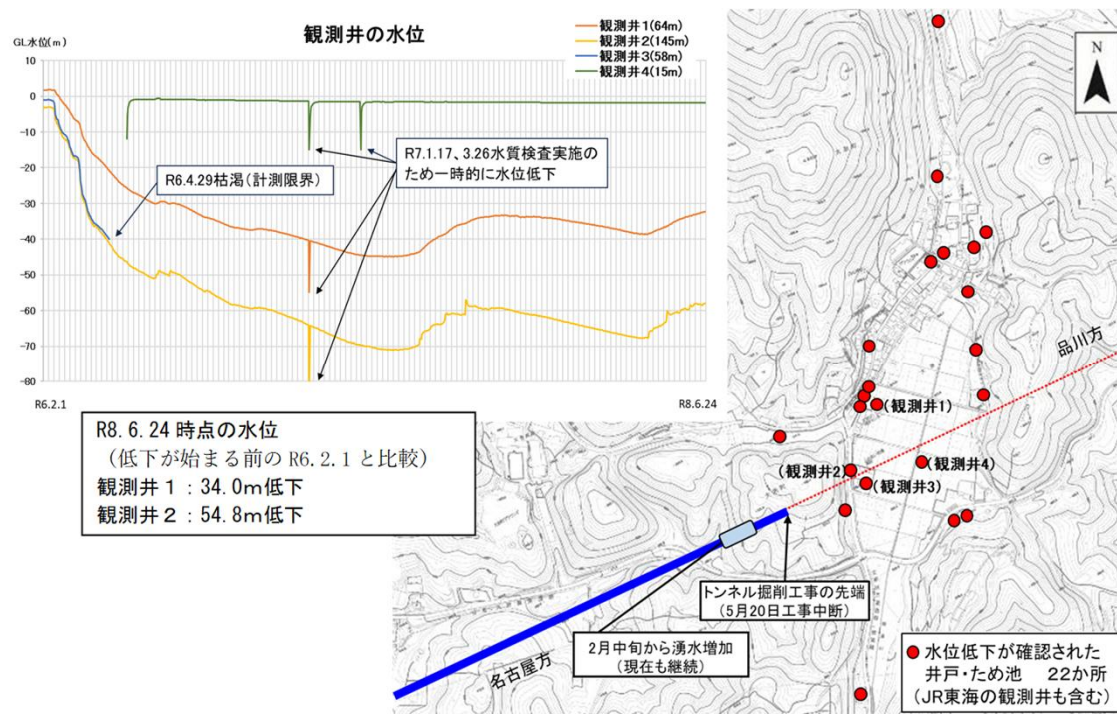


(5) 県内での工事に伴い発生した問題（瑞浪市大湫町）

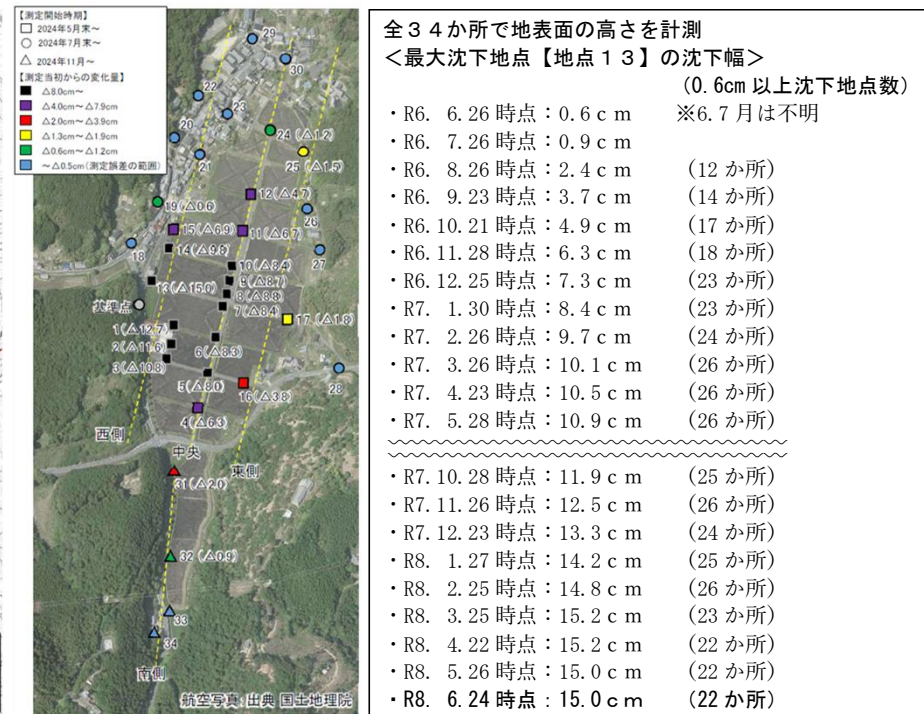
【地下水位の低下、地盤沈下】

- 日吉トンネル南垣外工区（瑞浪市大湫町内）において、令和6年2月リニアトンネル工事が原因の地下水位低下が発生。同年5月20日以降、現在に至るまで工事を中断。同年8月には地盤沈下も確認され現在も進行中
- 岐阜県環境影響評価審査会地盤委員会をこれまでに12回開催し、環境保全措置の実施状況や再発防止に向けた取組等について審議
- 引き続きJR東海に対して地域住民の十分な理解を得るよう対応を求めている

地下水位低下の状況（R8.6.24）時点



地盤沈下の状況（R8.6.24）時点



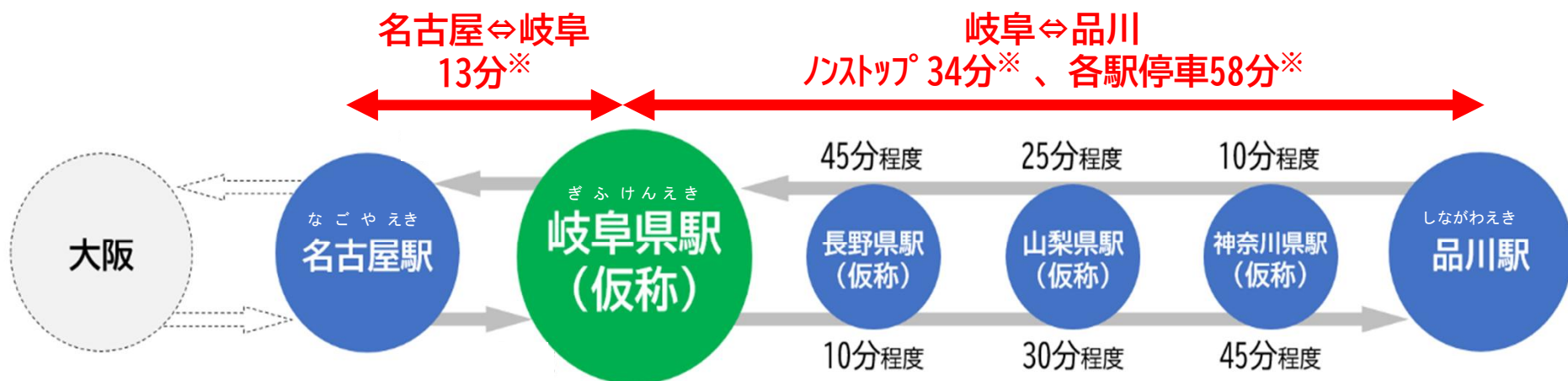
(6) リニア開業の効果（アクセス時間の短縮）

- 中津川市に岐阜県駅を整備
- 品川と岐阜がノンストップで34分※、各駅停車で58分※でつながり、人やモノの流れが大きく変化
- 品川と羽田空港間は20分程度であり、海外ルートの利便性も向上
- 中津川市から名古屋までは13分※、大阪までは45分程度でアクセス可能

中津川市に「リニア岐阜県駅」ができれば**東京へのアクセスが大幅に向上**
⇒ 岐阜県駅周辺は**東京の通勤圏に**

中津川市から名古屋まで現在60分程度のところが13分※に
⇒ **名古屋へのアクセス時間が大幅に短縮**

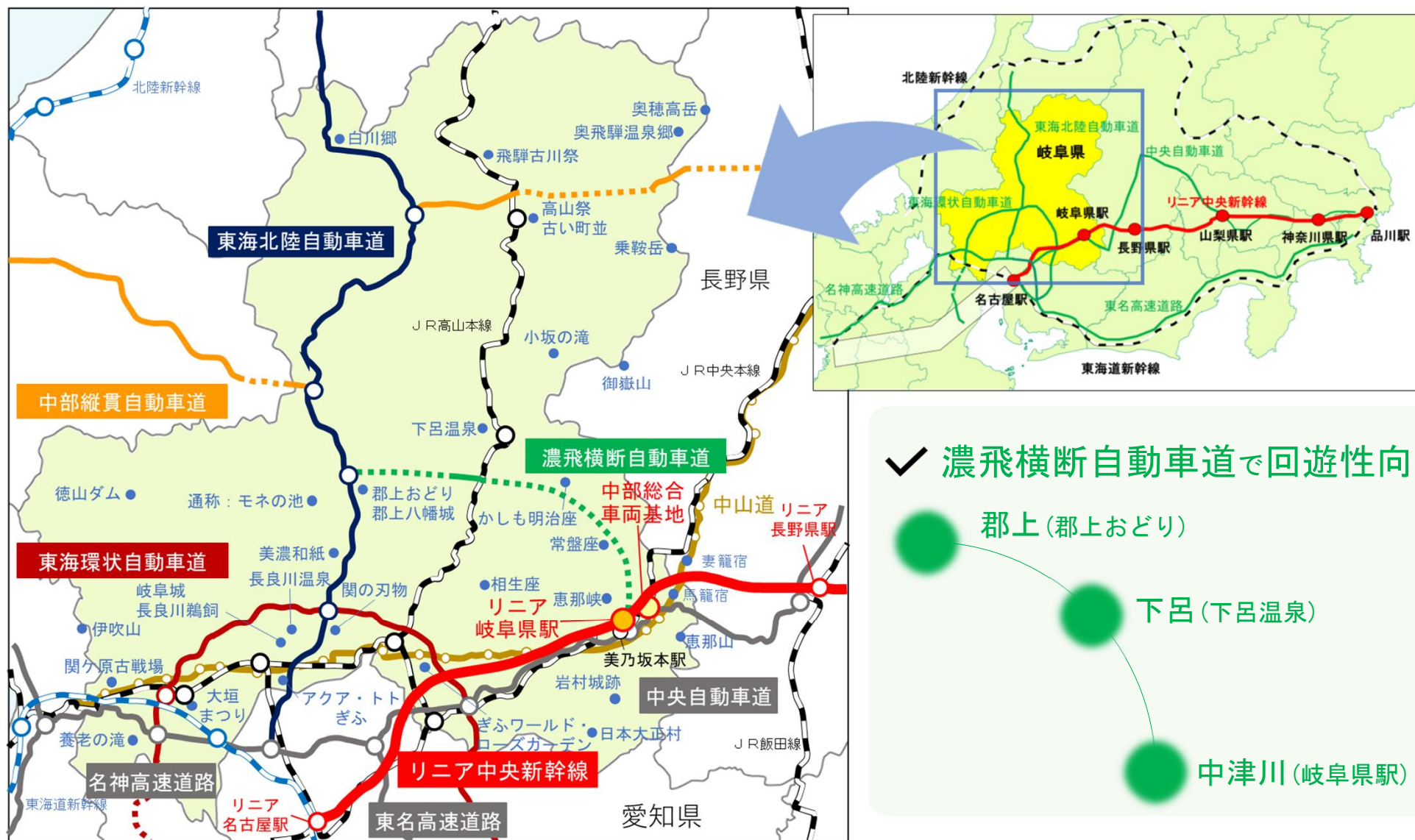
※岐阜⇄品川、名古屋⇄岐阜の所要時間は県の試算



(参考) 岐阜県内の高速道路ネットワーク

岐阜県は、**東西南北どこからでもアクセスしやすい立地環境**

- 東名・名神・中央自動車道 ➡ 関東・関西圏からのアクセス充実
- 東海環状・東海北陸自動車道 ➡ 北陸・東海圏からのアクセス充実



✓ 濃飛横断自動車道で回遊性向上

郡上 (郡上おどり)

下呂 (下呂温泉)

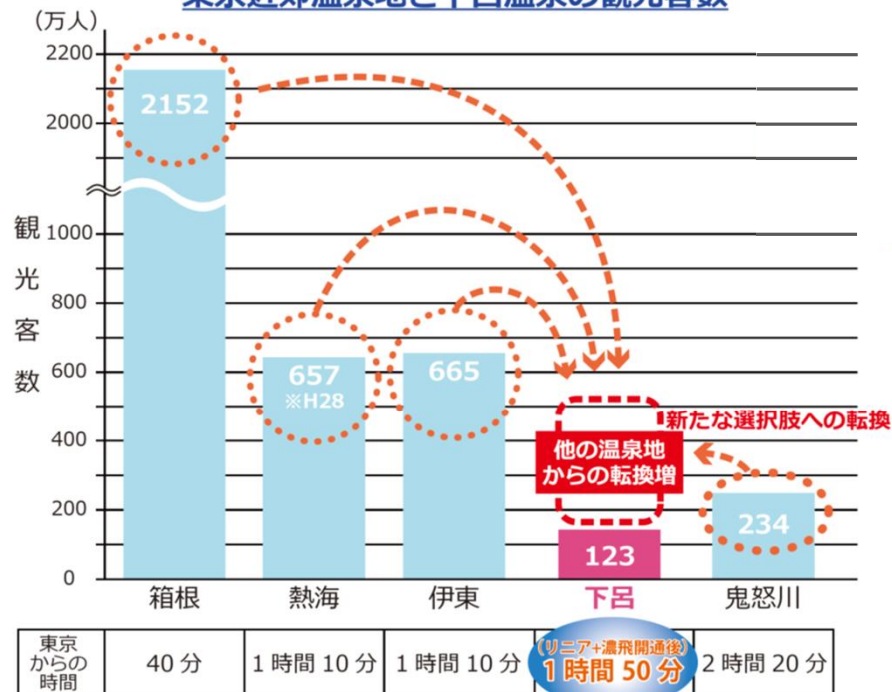
中津川 (岐阜県駅)

(7) リニア開業の効果（観光資源へのアクセス向上）

リニア中央新幹線＋濃飛横断自動車道が開通すれば・・・

- リニア岐阜県駅から日本三名泉の下呂温泉まで車で約50分！
- 徹夜で踊り明かす郡上おどりで知られる郡上八幡へのアクセスも向上！
- 全国的に知名度の高い高山への新たなルートを確立！

東京近郊温泉地と下呂温泉の観光客数

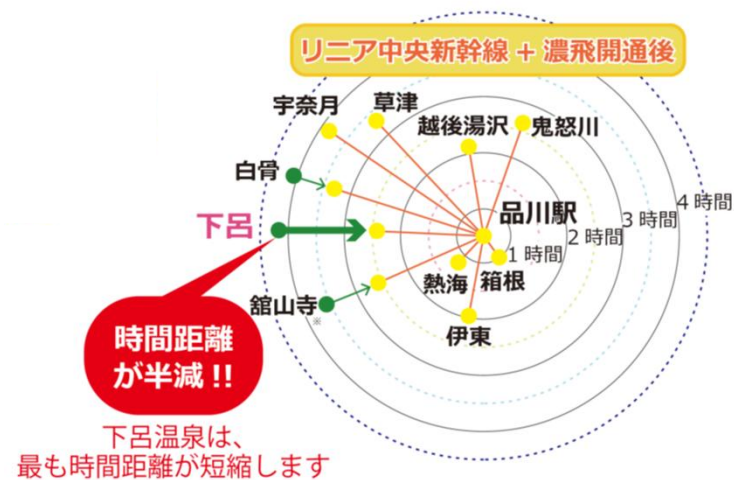


※所要時間は7時に品川駅を出発した場合。
※濃飛の中津川～下呂間は、旅行速度 60km/h で算定。

(観光客数出典)

平成29年度栃木県観光客入込数・宿泊数推定調査結果(栃木県)、平成29年度伊東温泉観光客実態調査報告書(伊東市)、平成29年版熱海市の観光(熱海市)、平成29年入込観光客総評(箱根町)、平成29年岐阜県観光入込客統計調査(岐阜県)

首都圏から主要な温泉地への時間距離の変化



※館山寺温泉は、リニアを使った名古屋経由で試算



2 岐阜県におけるリニアを活用したまちづくり

2026 (R8) 年3月

「リニア岐阜県駅を核とした東濃・可茂圏域のまちづくり」の具体的な施策の方向性を公表

- ▶ リニア中央新幹線が開業することにより、品川駅からリニア岐阜県駅までが約1時間で結ばれ、**リニア岐阜県駅をはじめ東濃・可茂圏域は本県の東の玄関口となる。トンネルを抜けると「別世界」の体験ができる特別な地域として感動してもらえることが重要**
- ▶ リニアの開業を見据え、開業までの限られた時間の中でリニアを活用したまちづくりを進めるため、県庁内に関係部局で構成する「未来のまちづくり検討プロジェクトチーム」を設置し、東濃・可茂圏域の現状分析や、関係する市町村、経済団体、観光団体の計37団体へのヒアリングなどを行いながら検討を実施
- ▶ その結果、次を3本柱とし、**それぞれの目標とその実現のための具体的な施策の方向性を整理し、令和8年3月に公表**



1 国内外から訪れてもらえるまち

【目標】

東濃・可茂圏域から下呂市や郡上市、高山市に至るまで、各地に点在する自然や食、伝統文化などのここでしか体験できない**魅力を更に磨き上げ、国内外に発信**していくほか、**交通ネットワークで各地を結び、周遊性を持たせていく取組を推進**

【具体的な施策の方向性】

- ① 地域資源（自然や食、伝統文化など）の発掘・選定・強化
- ② 農林業体験やアウトドア活動を楽しむ環境整備
- ③ 周遊促進、宿泊場所の創出

2 首都圏・関西圏の生活圏として、働き住んでもらえるまち

【目標】

日本の中央に位置し、津波の心配がなく地盤も強固で地震に強いというこの地域が持つ地理的・地形的な優位性と、豊かな自然に囲まれたストレスの無い環境を強みに、**先端産業などの研究機関やサテライトオフィス、教育機関などの誘致や、移住・二地域居住の取組などを推進**

【具体的な施策の方向性】

- ① 移住・二地域居住の推進
- ② 医療・介護体制の整備
- ③ 子育て支援体制の整備
- ④ 地域を担う人材の育成・確保
- ⑤ 地域を支える産業の育成・支援
- ⑥ 先端産業・行政機能等の誘致

3 まちの魅力を高める基盤整備

【目標】

この地域らしい景観を有し、機能的で利便性の高い**リニア岐阜県駅及び駅周辺の整備**、そこへアクセスするための**広域道路ネットワークの整備**、**自動運転なども含めた二次交通の充実等を推進**

【具体的な施策の方向性】

- ① リニア岐阜県駅及び駅周辺の整備
- ② リニア岐阜県駅のアクセス道路及び周遊を促進する道路網の整備
- ③ リニア岐阜県駅を起点とした公共交通ネットワークの充実
- ④ 交通拠点の機能強化
- ⑤ 安全で安心なまちづくり

リニアの開業効果を東濃・可茂圏域だけでなく県内全域に波及させるため
今年度中に「岐阜県リニア中央新幹線活用戦略」を改定

リニア岐阜県駅を核とした 東濃・可茂圏域のまちづくり



広域的な取組



木曽川中流域エリア



東濃・可茂のグルメ



まちづくりの具体的な方向性

- 1 国内外から訪れてもらえるまち
- 2 首都圏・関西圏の生活圏として、働き住んでもらえるまち
- 3 まちの魅力を高める基盤整備

木曽川上流域 エリア



リニア岐阜県駅、 駅周辺エリア



3 今年度の動き

○岐阜県リニア中央新幹線対策本部員会議【R8. 4. 21】

(県庁内の各部局長で構成する、リニア施策を協議するための庁内会議)

- ・ 各部局の施策や計画等へのリニア開業を見据えた取組や対策を反映するなど主体的に取り組むとともに、連携して広報を実施し、県民の機運醸成を図るべく意識を統一

○岐阜県リニア中央新幹線活用戦略研究会【R8. 5. 25】

- ・ 活用戦略の改定にあたり、改定方針やスケジュールのほか、中津川市・恵那市のまちづくりの取組などについて共有し意見交換を実施
- ・ 各市町村や産業経済・観光関係団体に対し、戦略や計画等へのリニア開業を見据えた取組の反映や、県が実施する広報への協力などを依頼



▶ R8. 5. 25 岐阜県リニア活用戦略研究会

○第1回岐阜県リニア中央新幹線活用戦略改定に係る有識者懇談会【R8. 6. 15】

- ・ 県境を越えた広域的な周遊の促進や観光資源の磨き上げ、次代を担う子どもたちを含めた機運醸成の必要性などの意見をいただいた

4 岐阜県東濃5市未来のまちづくり協議会

- 今年6月9日、東濃5市（多治見、土岐、瑞浪、恵那、中津川）が連携し、リニアの開業を見据え、ビジネス交流・企業誘致・観光誘客など、広域的なまちづくりを実現していくため、「県東濃5市未来のまちづくり協議会」を設立
- 今年度は、台湾をターゲットとして捉え、7月26日～28日まで、訪台し台湾企業等とビジネスミーティングを実施

＜岐阜県東濃5市未来のまちづくり協議会 構成員＞

東濃5市（多治見、土岐、瑞浪、恵那、中津川）の市長及び議長

〔顧問〕 古屋 衆議院議員、岐阜県（リニア未来都市局長、商工労働部長、観光文化スポーツ部長ほか）

〔オブザーバー〕 商工会議所、商工会、観光協会



5 岐阜県リニアシンポジウム

【目 的】

リニア開業に向けた機運を醸成するため
県民とともに「リニアで描く未来」を考
える契機とする

【日 時】

令和8年8月3日（月）
15：15～16：30

※リニア建設促進岐阜県期成同盟会総会に合わせ開催

【会 場】

東美濃ふれあいセンター（中津川市）

【内 容】

- 基調講演
- トークセッション

【参加者】

〔関係者〕 350人

（県、市町村、中部運輸局、JR東海、関係団体等）

〔一般参加者〕 250人



岐阜県リニア シンポジウム

リニアで描く未来を考える

2026年
8月3日（月） 15：15～16：30
(受付開始14:50～)

東美濃ふれあいセンター 歌舞伎ホール
(中津川市茄子川1683-797)

参 加 無 料
定員250名

参加者には、
リニアグッズ
をプレゼント



プログラム

● 講演 15:15～15:35	● トークセッション 15:35～16:30
リニアで描く未来 岐阜県知事 江崎 禎英	(コーディネーター) 岐阜大学工学部教授 倉内 文孝 氏
日常の中から福井の活力を創造する まちづくり福井(株)代表取締役社長 松尾 大輔 氏	(パネリスト) まちづくり福井(株)代表取締役社長 松尾 大輔 氏 中津川市長 小栗 仁志 恵那市長 小坂 喬峰 岐阜県知事 江崎 禎英
 江崎 禎英 岐阜県知事	 倉内 文孝 氏 岐阜大学工学部教授
 松尾 大輔 氏 まちづくり福井(株) 代表取締役社長	 小栗 仁志 中津川市長
北陸新幹線の福井開業を「100年に一度のチャンス」と捉え、持続可能なまちづくりを实践	 小坂 喬峰 恵那市長
	交通工学・交通計画を専門とし、安全、便利で持続可能な交通システムのあり方を研究